

福祉のお仕事に興味をもたれたら 兵庫県福祉人材センターを活用しよう!!

福祉人材センターは、福祉・介護の仕事に興味を持つあなたの強い味方。

以下のような事業をしています。お気軽に下記までお問い合わせ・お越しください。

1 就職相談・紹介

仕事の内容についての相談や必要な資格の取得方法、労働条件に関する事など、専門の職員が丁寧にあなたの就職活動をサポートします。
求職登録をしていただくと、紹介状を発行することが可能です。



2 福祉のしごとと職場見学バスツアー

福祉の仕事には興味があるけど、どんな感じかイメージがつかない・・・という方には、「福祉のしごとと職場見学バスツアー」がおすすめ! 福祉施設へ人材センター職員がご案内。同じ疑問を持つ参加者の方とじっくり施設の見学をしていただけます。



3 福祉体験学習

就職する前に、一度どんな施設か体験してみたい・・・という方には、「福祉体験学習」がおすすめ! 兵庫県内の多くの福祉施設が、体験先として登録しています。気になる施設で最大5日間、職場体験をしていただけます(高校生以上可)。また、福祉職員のお話を直接お伺いできます。



4 就職フェアなどイベント開催

年に2回、大型の就職フェアを開催!
その他県内各地で就職説明会も開催しています。人事担当者と一緒に話せる機会をご提供しています。



5 求人・イベント情報発信

FacebookやHPで役立つ情報を配信!
求職登録いただいた方へは、新着求人情報や就職フェアなどのイベント情報をお届けしています。



こんな方々が
福祉の世界で
活躍しています!!

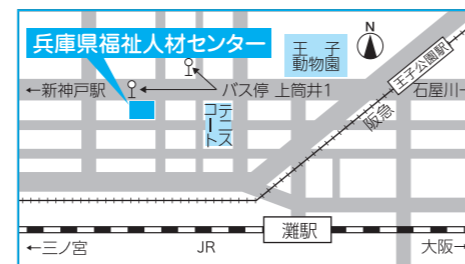
福祉のお仕事をがんばる若い職員に密着し、プロモーションビデオを作成しました。福祉のお仕事を始めたきっかけや仕事の魅力、やりがいなどを教えていただきました。YouTubeの公式チャンネルで全編ご覧いただけます。福祉のお仕事に迷いや不安がある方、先輩たちの意見を参考にしてみてください。

 **YouTube** 兵庫県福祉人材センター

社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会
兵庫県福祉人材センター



〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター内
TEL:078-271-3881 ●平日8:45~17:30 ※土曜・日曜・祝日・年末年始は休館
<https://www.hyogo-wel.or.jp/>



JR灘駅より徒歩約10分・阪急王子公園駅より徒歩約10分

介護福祉士

人の役にたちながら
自分も成長できる

社会福祉士

知識と経験を支援に活かす
人ととことん向き合っていきたい

プロとして生きる。

社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会

プロとして生きる。

福祉の仕事と聞いて、「大変そう、難しそう」というイメージを思い浮かべる人もいるかもしれませんが。

もちろん、人と接する仕事ですので、そういう面はどうしてもありますが、

福祉の仕事に全力で取り組むことで、自らスキルアップをはかりながらその成果を多くの人に還元している職員は現場にはたくさんいます。

今回は、そんな“福祉の仕事のプロ”として活躍する介護福祉士の平川さんと、社会福祉士の谷間さんにご対談いただき、

それぞれの仕事の中身や魅力について語っていただきました。

新たな資格の取得など、仕事を通して 自らの成長を実感できる喜び

谷間 平川さんはどうして福祉の仕事に就こうと思われたんですか？

平川 高校卒業後、実家の仕事を手伝っていたのですが、空いた時間に今の職場のパートタイマーとして働き出したのがきっかけでした。その後、3年間の実務経験を経て介護福祉士の資格を取り、以降正規社員としてフルタイムで勤務しています。

平川 谷間さんは、以前は介護福祉士として働かれていたそうですが、どうして社会福祉士をめざそうと思われたのですか。

谷間 利用者の方やそのご家族の方とお話していると、困りごとは介護に関することだけではないんです。ご相談にのるためには「障害者福祉」や「児童福祉」に関する知識や、生活保護や年金を始めとした生活を支える制度などの幅広い知識が必要だと実感しました。複合的な困りごとについてサポートしたいと思い社会福祉士の資格を通信教育で取得しました。

平川 私の職場では、他業種との関わりと言えば看護師さんとのやりとりが多く、「もっと知識があれば、より連携もスムーズになるのに。」と感じることがよくあります。そのつど

わからないところについて調べたりするわけですが、その延長線上に資格取得がある感じですね。最近、相談業務にも関わりたいと思い、社会福祉主事任用資格を取りました。業務を通して自身の成長を実感できるのも今の仕事の魅力です。知識や技術の幅を広げることで、結婚や出産等によりライフスタイルが変わっても現場で安心して働き続けることができると考えています。

谷間 確かにその通りですね。資格取得後は、それまでと仕事の取り組み方は変わりましたか？

平川 勉強したことで介護技術の知識や他の職員との連携の大切さを改めて実感しましたし、利用者の方の生活全般を今まで以上に考えるようになりました。「その方に応じたケアを実践していきたい。」という意識が高まったと思います。

利用者や相談者と向き合い、 より良い関係性を築いた上で、 その方に応じたケアやサポートを実践

平川 私は、特別養護老人ホームで、オムツ交換、トイレや入浴、食事などの介助、レクリエーションなど、施設内での介護業務全般を担当しています。社会

福祉士は、福祉施設をはじめ行政や学校など、幅広い分野で相談業務をされますが、谷間さんは具体的にどのような仕事をしているんですか。

谷間 居宅介護支援事業所で働いています。簡単にいうと、そのままではご自宅で生活することが難しい方やお手伝いが必要な方のお宅を訪問し、相談にのる仕事です。ご本人はもちろん、ご家族だけでなく、病院や行政からも相談を受けます。ご本人の希望や悩みをきいて、ご自宅で生活できるように福祉サービスの紹介や、ケアマネジャーにつなげたりします。また、ご本人の体調を考えて、福祉施設への入所を勧めることもあります。さらに、利用できる制度や補助金を紹介するなどして、解決策を提案していきます。

平川 制度を紹介するとともに、役所や病院など、関係機関への橋渡しもされるんですね。

谷間 そうですね。紹介して終わりではなく、「その後サービスが上手く利用できているのか？」といった見守りもしています。また、介護保険制度以外にも紙オムツの給付など市町が独自に定めた生活支援制度もあり、それらの紹介もしています。

平川 なかなか福祉制度の詳細については知らないことも多いので、自身の状況に合わせて適切なものを紹介してもらえるのはとっても心強いですよね。特に、高齢者の方だと、インターネットで調べるのも難しいという場合も少なくないでしょう。福祉制度を利用する際は不安に思う方が多いと思うので。

谷間 おっしゃる通りです。ひとりひとり必要なサービス、使えるサービスが違います。その方が目指している生活が送れるように、お話を聞きながらサービスを紹介して行きます。ご本人やご家族の方から「助かりました。」「ありがとうございます。」とお声かけいただいたときに、この仕事をやっていて本当に良かったと感じます。

平川 ちなみに、訪問がメインとのことでしたが、初めてご自宅を訪れる際に警戒されたりすることはないんですか？

谷間 もちろん、ありますよ(笑)。ただ、相手の方の状況にもよりますが、最初はダメでも2、3日後に再訪問するなど、何度も顔を出すことにより、少しずつ相談者の方との距離を縮めて行きます。

平川 私も同じです。入居されたばかりの方とは繰り返し会話をするように心が

けています。日々のコミュニケーションを通して、「この人は歌が好きなんだな。」「家族の話をするときが一番楽しそう。」といった感じに、理解を深めていきます。その過程の中で「これをしたら喜んでもらえるかな。」という引き出しを少しずつ増やしていくのですが、実際に相手の方が笑顔になってくれたときは、この仕事を選んでよかったと心のそこから思います。

社会的な貢献度が高く、 自らの生活にも還元できる仕事

谷間 私が担当している地域でも、高齢化が進むとともに、過疎化・空き家の増加などの傾向が顕著になっています。また、地域によっては福祉サービスの格差があるなど、さまざまな課題ができています。社会福祉士として、これからも目の前の相談者の方に全力で向き合うとともに、どこに住んでいても、安心して福祉サービスが利用できるように行政への働きかけなどにも取り組んでいきたいです。

平川 今の谷間さんのお話もそうですが、福祉の仕事は社会に不可欠なもので、人の役にたてているという実感も大きいです。また、生活に密接に結びついている仕事でもあり、自らの子育てや両親の介護などの場面において、これまで培ってきたことが自分の家族にも還元できるという面もあります。あとは、仕事を通じて自身の成長を実感できるのも大きなやりがいになっています。

谷間 私は現在、精神保健福祉士の資格取得にもチャレンジしていますが、福祉の現場は、自分のやる気次第でキャリアをステップアップさせ、仕事の幅を広げられるのもいいところだと思います。介護福祉士も社会福祉士も、さまざまな現場からニーズがあり、社会的な貢献度も大きいですよね。

平川 福祉の仕事に携わる人が増えることで現場の連携も強くなり、結果的に仕事の質の向上にもつながっていきます。福祉の分野に進もうと考えておられるみなさんに期待するとともに、一緒に働けるのを楽しみにしています。

介護福祉士・社会福祉士のお仕事の具体的な中身をWEBで公開!
ライター体験記事とあわせて、詳しく、楽しくご紹介します。
アクセスはこちらのURL/QRコードから→



介護福祉士

平川 理子
Riko Hegawa

Career Step

高校を卒業後、実家の仕事を手伝いながら、特別養護老人ホームのパートタイマーとして福祉の現場へ。3年の実務経験を経て、介護福祉士の資格を取得。その後、社会福祉主事任用資格も取り、現在は「ちょっとした触れ合いのときにマッサージなどもできれば」との思いから、エステ系の資格取得も目指している。



社会福祉士

谷間 大樹
Hiroki Tanima

Career Step

福祉系の専門学校を卒業後、特別養護老人ホームに就職。介護職員としてのキャリアをスタートさせ、その後ケアマネジャー、社会福祉士の資格を取得。現在は、病気や障害などにより自宅で日常生活を送ることが困難になった人の相談を受け、その解決策を探り、サポートを手がける居宅介護支援事業に携わる。